

2022/5/6(金)

22:00~

三浦さん(60歳)

食品メーカー 定年退職  
後 就活中

### 解答用紙

受験者 氏名	
-----------	--

受験者シールのバーコードシール  
1枚をこの上に貼り付けてください。

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

定年退職後就活をしているが、当初すぐに見つかると思っていたが自分の希望する就職先が見つからずやる気も無くなり、一度違う角度から今後の就活について相談したい。

1行目: 良かった点, 2行目: 悪かった点

【設問2】 ~~事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。~~

良

CLの話に言語的追跡を心がけ傾聴を続けることにより、CLとの信頼関係が築けた点。

悪

CLのこれまでの仕事に焦点を当てすぎたため、話が進展せずCLの主訴に近づくことができなかった点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 CLは定年退職後の就職先を探すも自分の能力や強み、求める働き方について、自己理解不足がある。またシニアの転職市場についての理解、情報不足もある。

② その根拠

CLは自分の能力を活かせる職種を探すも事務処理能力以外自己の能力や強みについて考えられず、また定年退職してすぐに再就職できると考えていたことから転職市場への理解不足もある。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずはこれまで就労機関から紹介された職種や自分で収集した情報などについて話を伺い、シニアの求人情報や実際に就くような仕事についての理解を深められるようにする。またこれまでの仕事経験についても振り返ってもらい、その中で仕事をしていた時の気持ちや大変だった事なども伺うことで自身の強みや仕事に対する思いを整理してもらう。これらをもとに自身の強みや能力を活かせる職種は何かを考え、それに向けた就職活動の必要な準備を行い、希望するセカンドキャリアを歩めるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.3)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙